



# 八鹿青溪



貫徹 慎独 創造

養父市立八鹿青溪中学校 校報  
(令和6年2月13日) 第30号



八鹿青溪中 HP

学校教育目標「ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成」

## 第9回全校集会

2月5日(月)、第9回全校集会(第8回全校集会は3学期始業式後に実施:校長講話省略)を行いました。今回は、令和5年度養父市「二十歳のつどい」の中の「誓いのことば」を紹介させていただきました。

「皆さん、日本では何歳になったら『大人』ですか?そうですね、18歳ですよ。ところが、2年前までの成人年齢は20歳でしたし、20歳で『成人式』があり、私も今から30年以上前にその成人式に出ました。今では、成人式を『二十歳(はたち)のつどい』と呼んでおり、養父市では1月7日(日)に YB ファブで開催されました。今日の全校集会では、その代表の方の『誓いのことば』を、一部になりますを紹介します。」

◆令和6年養父市二十歳のつどい代表「誓いのことば」※一部抜粋

「『二十歳(はたち)』という人生の節目を迎えこれまでの日々を振り返ると、養父市で過ごした18年間は、家族や友人、先生方、地域の方々に支えられ、たくさんの経験ができ、優しさに満ちた穏やかな時間でした。高校卒業後は養父市を離れ、一人で生活する大変さや勉強の難しさなど、今までとは違う環境に不安で押し潰されそうになることもありました。そんな時、支えてくれるのは、友達や家族、そして、今日まで出会ったたくさんの人たちだとあらためて実感しています。

ここで私が大切にしたい3つのことについてお話しさせていただきます。1つ目は、人とのつながりです。今まで出会ったたくさんの人のおかげで、私たちはこの日を迎えることができました。人はけっして一人ではなく、お互いに助け合い感謝することでつながりを深め、成長するものだと思います。これから新しい出会いとつながりを大切に、感謝の気持ちを忘れずに、より豊かな人生にしていきたいものです。2つ目は気持ちを言葉にすることです。皆さんは、自分の内側にある思いや考えを言葉に出していますか?私は相手にうまく伝えることができず、何度も後悔してきました。言葉にすることで思いが伝わる、伝わることで勇気や元気が出て、自信になり前に進むことができます。相手のためにも、何よりも自分のためにも、気持ちを言葉にして伝えられる人でありたいです。3つ目は挑戦することです。好きなことをたくさん見つけ、うまくできなくても努力することでポジティブになれます。私は大学に通いながら、ピアノ、声楽、オペラ、吹奏楽とたくさんすることに挑戦しています。うまくいかない時もありますが、頑張った後の幸福感や達成感、自分を成長させてくれるきっかけになります。皆さんも二十歳という節目に何か挑戦してみませんか?きっと新しい一歩が踏み出せるはずです。

最後になりましたが、自然豊かな優しい養父市で育ったことに誇りを持ち、生まれ育った故郷に恩返しできるような、自分の生き方に自信が持てる人になることをここに誓い、『誓いのことば』とさせていただきます。」

○学級役員(委員長・副委員長) 認証式

○表彰

【運動部活動部門】 第59回但馬中学校バレーボール大会 第3位 ※県大会進出

【文化・芸術部門】 第55回但馬中学校書き初め大会 特選 2年 1名 他入選・佳作11名



